

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成17年度	根拠法令・例規等	医療法、備前市国民健康保険市立吉永病院
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問 担当課(室) 市立吉永病院事務局 合 職・氏名 庶務係長 大峠一吉 先 電 話 0869-84-2120 このシート作成に要した時間 6.0 時間
	中項目	基本施策	02	健やかで生き生きとしたまちづくり	
	小項目	施策	07	病院事業	
事務事業名		10	吉永病院運営事業		

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	出資者である市民	
目的(何のために)	市立吉永病院の基本理念に基づき、安心、安全で地域に開かれた医療の提供と、計画的、効率的な病院経営の推進を図る	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	患者さんに親しまれ、信頼され、必要とされる病院とする。また、経営の改革と基盤強化に取り組み、安定した病院経営とする	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	病院運営(各種委員会)	病院の医療安全管理、感染対策や、業務、経営改善のための各種委員会の開催	
	労務管理	病院職員の労務、健康管理	
	施設管理	病院施設の管理	
	財務管理	病院運営の財務管理	
	その他庶務	法令、条例に沿った病院運営の庶務、また他の細事業に属さない事務	

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	事業費	直接事業費	千円	55,751	41,711	45,559
	事業費	必要人員	人	4.81人	4.90人	5.11人
		人件費	千円	44,858	41,470	45,487
	財源	事業費	千円	100,609	83,181	91,046
		国庫支出金	千円		646	1,024
受益者負担		千円				
繰入金		千円				
受	市債	千円				
	その他()	千円				
一般財源	千円	100,609	82,535	90,022		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績		
会議出席者延数	説明	会議出席者延数				
結果指標	結果指標量	980	946	1,165		
	対前年比	%	-	96.5%		
	活動コスト	円	6,328,000	6,209,000	7,365,000	
	単位当たりコスト	円	6,457	6,563	6,322	

事業の成果		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
成果指標名	成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
	決算における経常収支比率(%)	目標値(A)	100	100	104	102
		実績値(B)	103.4	103.6	99.9	到達目標値
	達成率(B/A)	103.40%	103.60%	96.06%	102	
成果指標設定の考え方・式や説明						
経常収入/経常費用×100 「備前市病院事業改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標 経常収支比率、職員給与費率、病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすいの経常収支比率を選択した。(診療事業のシートで)を選択)						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	備前市病院事業経営評価委員会において、備前市病院事業改革プランの進捗状況について点検及び評価をするとともに、病院事業の経営に係る事項について調査及び検討を行い、人材確保、収益向上、経費削減等、経営改善の充実を図っていく。

総合評価		総合評価
平成24年度では、入院、外来ともに患者数の減により医療収益が減少した。一方、医師、看護補助者等の確保により給与費等が増加したため純損失を計上した。医療圏内の人口は減少しており、外来患者数の増加は見込めないため、今後は在宅医療サービスに重点を置いていく必要がある。経営やコストについても病院スタッフ全体で研究し、意識を高めていく必要がある。		B

平成26年度の方向性・取組目標		Action
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了	
取組目標	備前市病院事業検討委員会の答申を受けた検討してきた地方独立行政法人化については、職員の意向調査の結果を受けて見送ることとなり、経営形態のあり方については、備前病院、日生病院を含めて引き続き検討することとなっている。経営の改善については、在宅サービスの充実、特に訪問リハビリの強化に取り組む。	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな